

美郷町DX推進基本計画【概要版】

～ゆっくりでも着実に前進、住民に優しいデジタル社会の実現を～

■計画の目的>>>みさと版DXの必要性や方向性を共有

「ゆっくりでも着実に前進、住民に優しいデジタル社会」を実現するためには

- 必要なのは、単なる先端技術の導入やアナログからデジタルへの変換ではなく、それに合わせた制度や施策、組織の在り方自体の変革、そして職員一人ひとりの意識改革です。他人事ではなく、組織全体で取り組むことです。

DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは、「デジタル技術の活用によって、業務や組織の在り方を変革し、より良い方向に導くこと。」



基本理念 ゆっくりでも着実に前進、住民に優しいデジタル社会の実現

目的 住民の利便性と満足度の向上
(安全・安心、便利で快適な住民サービスの提供)

目標 行政サービスの向上と業務の効率化



みさと版DX

美郷らしさの実現をDXの力で後押し

3つの基本方針

住民サービスの向上 (住民DX)

行政事務のデジタル推進 (庁内DX)

地域社会のDXの推進 (地域DX)

各部署の個別の施策

DXで補完

第3次美郷町総合計画
(令和4年度～令和11年度)

第2期美郷版総合戦略
(令和2年度～令和7年度)

行政DXに取り組むにあたっての心構え

- 利用者中心の行政サービスを提供するため、サービスデザイン思考によるサービス・業務改革（BPR）を進めよう。
- 前例踏襲にとらわれることなく、DXを利用した新しいことにチャレンジするファーストベンギンになろう。

戦略 デジタル化が目的ではなく、手段として活用するための人材育成

前提 デジタル3原則など国や秋田県のデジタル政策に対する最新の動向と整合性

基本方針

(1) 住民サービスの向上 ～「デジタルで快適な窓口と迅速的確な情報伝達」の実現を～

- 行政手続きのオンライン化を進め、町税やその他手数料等のキャッシュレス決済、各種証明書のコンビニ交付サービスを導入・拡充し、住民サービスの充実と利便性の向上を図ります。
- 災害発生時における迅速・的確な情報収集及び伝達を行うため、情報共有機能の強化や伝達手段の拡充等、防災情報の充実と高度化を進めます。



- 行政手続きのオンライン化
 - キャッシュレス決済の拡充（公金収納の多様化）
 - 書かない窓口の導入
 - 行政情報発信手段の強化・拡充
 - A I - F A Qの導入
- ⇒ ⇒ ⇒ **フロントヤード改革の実現**



(2) 行政事務のデジタル推進 ～質の高い行政サービスとスマート自治体の実現を～

- B P R研修による業務の省力化・効率化を推進します。
- 基幹システムの標準化・共通化によりデジタル環境の最適化を図ります。
- 職員個々のデジタルに関する能力向上を図り、情報セキュリティリスクへの対応を進めます。



- ペーパーレス化の推進
- テレワークを含むオンライン会議等の推進
- デジタル人材の育成と外部人材の活用
- セキュリティ対策

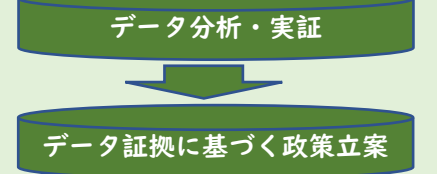


(3) 地域社会のDXの推進 ～全ての住民がデジタル化の利便性を享受できる地域社会の実現を～

- 住民の暮らしや地域社会全体へデジタル化を浸透させ、住民一人ひとりの生活の質の向上を目指します。
- 本町の魅力・資源を最大限に活かし、地域で協力しながら、地域課題を解決できるサポートをします。



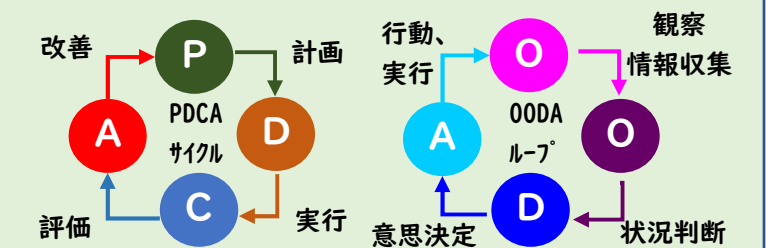
- デジタルデバイドの解消
- マイナンバーカードの利活用
- オープンデータの充実とE B P Mの推進
- デジタル技術の活用
- システムの標準化・共通化



■着実なDX推進に向けて

- 体制整備** 美郷町DX推進本部のもとに、本部会議、推進会議を設置し全庁的・横断的にみさと版DXを推進していきます。（組織図は別紙）
- K P I管理** スケジュールや指標を設定し、着実な施策の推進を図る。

「PDCAサイクル」と「OODAループ」による進捗管理と意思決定



状況変化に応じた迅速な意思決定で業務を実施効果的な問題解決や意思決定を促進するために相互に補完する。